かえる便り 29年度10号

平成２９年６月６日

初夏の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

“ブンジニア”という言葉があります。文科系の『ブン』とエンジニアの『ジニア』を合わせたものです。「理系の人は自分の研究している専門分野は詳しいけれど視野が狭いことが多い。また、文系の人は技術が分からない人が多い傾向にあるので、両方を勉強して正しい判断ができるようにした方が良い。」という考え方から生まれた造語です。（ドクター中松）様々な分野で細分化が進む現代社会だからこそ、“全体と細部が分かる”ことが良い判断につながるという考え方だと思います。

サッカーフェスティバルでお世話になっている某高校が来年３月に閉校します。十数名の３年生だけで準備・片付けをし、お互いを高め合っています。新入生による刺激を受けたことのない３年生が、総体予選を勝ち上がりベスト４に進出しました。指導者と３年生だけのチームを心の底から応援したいと思います。　快挙を成し遂げて欲しい‼

“森を見て木を見ず　木を見て森を見ず”

本質を見極める力と同時に細部にも注意を払うバランス感覚に優れた能力を身につけたいものです。人が成長するためには、いろいろな考え方の人と交流することが重要だと思います。視野の狭い考え方の人がいますが、その人に深い専門性があれば交流したいと思います。しかし、偏狭な考えで専門も深く追求しない人であれば、自然と人が離れていくのではないでしょうか？私は、専門性を高めると同時に広い知識も身につけたい。そのためには人と交流をして、豊かな人間性を育む努力をしたいと思います。　　特に教員には求められるのではないでしょうか？

先日、栄養講習会を開催しました。　“食事の質”　“不足している栄養素”“スポーツ選手として適切な量”　等の観点から講演していただきました。部員のノートには「自分は食事のバランスが悪かった」、「ケガをしない体にするために、食事に注意する」等を書いています。生かして欲しいと切に願います。